安来市立病院広報誌

みらい

人を大切に、よい医療・やさしいケア・安心を提供できる病院を目指します。

VOL.48
2017年1月号

安来市立病院
〒692-0404
島根県安来市広瀬町広瀬1931
TEL0854(32)2121 FAX0854(32)2125
http://www.city.yasugi.shimane.jp/hospital/

新年のご挨拶

院長 小川東明

新年明けましておめでとうございます。

本年も皆さまのご多幸をお祈りいたします。

月山富田城跡の整備が進み、昨年11月末より山頂へ登れるようになりました。城跡の麓にある当院から月山を見上げれば、約５００年前の戦国時代が偲ばれます。山陰のＪＲの駅へＩＣカード乗車券が使える自動改札が導入されたり、境港への大型クルーズ船寄港の増加などと相まって、月山や市内の名所も多くの観光客で賑わうものと思われます。

さて当院は１９５５年（昭和30年）に開院して、創立60年余です。２０２５年にピークを迎える団塊世代の後期高齢者の増加に対応するため、島根県では昨年の10月に「地域医療構想」が発表され、病床数削減の目安や在宅医療整備の必要性などが示されました。

当院でもこれに基づき、今年度中に策定される「市立病院新改革プラン」により、今後の方向性が示されますが、大きな変化が予想されます。山城（やまじろ）として中国地方を平定した月山富田城も、社会情勢の変化により平山城（ひらやまじろ）である松江城へと移行したように、当院も時代に適応していくことが大切であることは言うまでもありません。

より住みよい安来市の一助となるために、今後とも市内外の医療・介護施設との密な連携をとり、業務を行って参りたいと考えています。

どうか本年もよろしくお願いいたします。

基本方針

1．人権を尊重し、平等の精神をしっかりともちます。
2．安心を提供できるよう、切磋・協調し責任をもって医療にあたります。
3．常にやさしさとぬくもりのある心で、ケアに努めます。
4．保健・医療・福祉の連携を積極的に進め、地域包括医療を実践します。
5．公務員であることを自覚し、地域住民のために尽くします。

《患者さまの権利》

1．良質な医療を公平に受ける権利
2．診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利
3．自分の意志で検査や治療法に対して決定できる権利
4．セカンドオピニオン（他の医師の意見）を求める権利
5．個人情報（プライバシー）が守られる権利
6．人としての尊厳性を保証される権利

《患者さまの義務》

1．医療従事者と共同して治療に参加する義務
2．医療安全の実践に協力する義務
3．快適な療養環境の維持に協力する義務
4．病院の規則を守る義務

病院機能評価3rdG：Ver.1.1の認定を受けました

「病院機能評価」とは、国内の病院を対象に、中立的、科学的・専門的な見地の第三者（公益財団法人日本医療機能評価機構）が審査・評価する仕組みの事で、この審査により一定の基準を満たしていると判断された病院が「認定病院」として登録されます。病院機能評価受審の過程で、病院の位置づけの確認や、課題・問題点が明らかとなって来るため、病院の改善活動が推進され、病院管理体制の一層の充実や、医療の質向上に繋がります。

現在では、全国の約3割の病院が病院機能評価を活用し、質の改善活動に役立てています。当院は平成23年度に初めて受審をしましたが、この度、認定の有効期間（５年）を迎える事から、平成28年７月25・26日に更新審査を受けました（3rdG:Ver.1.1（主機能：一般病棟１、副機能：慢性期病院））。

今回の受審にあたり、約１年をかけて職員一丸となって取組んだ結果、11月４日に認定を受ける事ができました。今後も、より良い医療の提供に向け、検討改善に努めてまいります。

病院機能評価機構からの講評の概要

総 括：

１病院の特色

貴院は1955年に組合立病院として設立され、開設以来地域の医療ニーズに応えるべく日夜努力され、増床や増科を行い基幹病院として地域にとって欠くことのできない役割を担っている。2004年に市町村合併により市立病院となり、地域医療拠点病院の指定も受けており、救急医療にも積極的に対応し、地域医療に大きく貢献されていることは敬意を表したい。このたびの病院機能評価の更新受審では、前回の指摘事項も含めて高いレベルで組織的に改善活動に取り組んでいることが窺え、院長を中心に将来構想を構築すべく努力されている点についても高く評価できる。地域包括ケア病棟の設置、ＢＳＣ（バランススコアカード）を活用した組織運営、医療安全管理及び感染制御、地域連携などの機能の充実を図り市立病院として地域医療における重責を果たすべく更なる質向上に取り組まれており、評価できる項目も多くみられた。市立病院としてさらに地域の医療に貢献し、市民の安全・安心確保のために信頼される病院としての課題は多く、苦難も想定されるが、今回の指摘内容への取り組みも含めて今後も組織的・継続的に努力・工夫を図り貴院がより一層発展されることを期待したい。

認　定　証

Certificate of Accreditation

認定第JC1822-2号 Accreditation Number　主たる機能：一般病院１ Hospital Type 1

機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.1

病院名 Hospital Name　安来市立病院 Yasugi City Hospital　殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2016年8月5日～2021年8月4日
交付日：2016年11月4日
初回認定：2011年8月5日

☆☆
（認定2回目）

公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care
代表理事　理事長　河北　博文
Chairman of the Board　Hirobumi Kawakita

認　定　証

Certificate of Accreditation

認定第JC1822号 Accreditation Number　副機能：慢性期病院 Long-term Care Hospital

機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.1

病院名 Hospital Name　安来市立病院 Yasugi City Hospital　殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2016年8月5日～2021年8月4日
交付日：2016年11月4日

公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care
代表理事　理事長　河北　博文
Chairman of the Board　Hirobumi Kawakita

部署紹介 ～地域連携室～

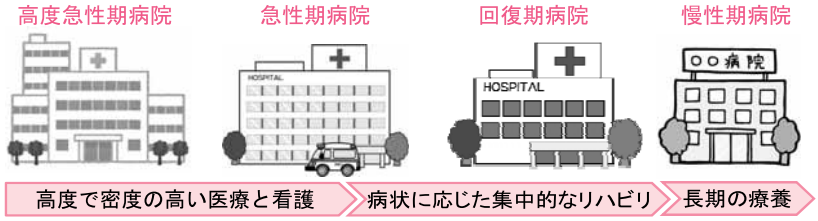
地域連携室は、患者さまに安心して通院、入退院をしていただくため、当院と他の病院・医院などを繋ぐ役割や、入院・通院に伴う患者さまの悩みや不安に関する相談をお受けしています。

病院の機能分化と医療機関同士の連携ついて

当院は安来市内の救急搬送を年間700～800件受入れており、特に急性期の医療を「役割」として担っています。急性期治療が終了し、リハビリテーション（以下リハビリ）が中心となれば、患者さまにはリハビリに専念していただけるよう、当院の地域包括ケア病棟や他院の回復期リハビリ病院へ転棟・転院していただく事になります。また、直接ご自宅への退院となられる方もありますので、このような際に地域連携室は、各医療機関や介護・福祉支援事業所の方と連携してスムーズな転・退院、在宅生活ができるように調整を図ります。

これらは国が進める「医療の機能分化」による対応であり、病気の回復過程に沿って、より効果的な医療が提供できるよう、病院を急性期・回復期・慢性期に分類し、体制を整えることとなりました。一つの病院で急性期から維持期の全ての機能を持つのではなく、病院毎で機能を分化し、互いに連携を取りながら「地域で完結する医療」を目指すことが目的であり、地域連携室の重要な役割です。

病院の機能分化イメージ図



退院支援・相談業務について

病院での入院期間は国の施策により短縮されつつあります。「病院での治療は終了したが、退院後の生活や介護が心配」など、不安を抱える方の相談を受け、サービスや制度の紹介等を行っています。また、ご自身やご家族が病気や怪我をされた場合にも治療やその後の生活、治療費等の相談も伺っています。どうぞお気軽にご相談ください。

インフルエンザを予防しましょう

感染対策室
感染管理認定看護師 長澤恵子

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起きる病気です。のどの痛み、鼻水、咳などの症状もみられますが、38℃以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急激に現れるのが特徴です。

インフルエンザを予防する方法には、「流行前にワクチンを接種する」、「流行シーズンは人混みへ外出する時にマスクを着用し、帰宅後にはうがい・手洗いをする」などがあります。また十分な休養と、バランスの取れた栄養摂取を心がけるなど、普段からの健康管理も大切です。

インフルエンザにかかった時には、なるべく早く医療機関で受診しましょう。インフルエンザの治療薬は、発症から48時間以内に開始することが重要です。インフルエンザは感染性が強い病気です。周りの人へ移さないよう、医療機関の受診時を含め、発症から１週間程度はマスクを着用しましょう。そして、体調がよくなるまでは無理をせず、水分補給と栄養摂取を心掛け、指示された薬の服用と、休養をとりましょう。

「泌尿器科」の診察日が変わりました

泌尿器科医師の退職に伴い平成29年１月より診察日が変更となりました。

	月	火	水	木	金
医　師	－	－	－	大学医	－

●受付時間　新患 8:30～11:00
　　再来 8:00～11:30
●診療開始　9:00～

★栄養管理室おすすめレシピ★

寒い日がつづきますね。
今回は、ゆずを使ったちらし寿司をご紹介します。
酢の替わりにゆずの絞り汁を使います。

～ちらしずし～

☆材　料☆	分量(4人分)	☆材　料☆	分量(4人分)
ご飯	800ｇ	【錦糸卵】	
【すしの具】		卵	2個
人参・ごぼう	40ｇずつ	砂糖	小さじ2/3
干し椎茸	2枚	塩	少々
A 戻し汁	200㎖	サラダ油	小さじ1
A 薄口醤油	小さじ1	【すし酢】	
A 砂糖	小さじ1 1/3	ゆずの絞り汁	60㎖
		砂糖	大さじ2弱
		塩	小さじ2/3
		刻みのり	少々

☆作り方☆

①【すしの具を作る】
　干し椎茸は水で戻し、薄切りにする。戻し汁はとっておく。人参は3㎝長さの細切りに、ごぼうはささがきにする。鍋に、椎茸、人参、ごぼう、Aの調味料を加えて汁がなくなるまで煮る。
②【錦糸卵を作る】
　卵をほぐして塩、砂糖をいれ、油を熱した鍋で薄焼き卵を焼き、千切りにする。
③【すし飯を作る】
　すし酢の材料を小鍋にあわせて火にかけ、砂糖、塩を溶かす。ご飯をボールなどに移し、熱いうちにすし酢を加える。しゃもじで切るように混ぜ、ごはんにすし酢をまんべんなく含ませる。
④　③に①を加えて更に混ぜる。皿に盛り、錦糸卵、刻みのりを散らしたらできあがり♪
☆お好みでゆずの絞り汁を加減して下さい。

1人当たり：エネルギー427kcal　塩分1.6ｇ

外来診療案内

平成29年1月1日

診療科＼曜日		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	足立加津彦	川田壮一郎	足立加津彦	川田壮一郎	星野　由樹
				星野　由樹		
	循環器内科	森　正剛	大学医	森　正剛	大学医	森　正剛
				乗本　業文		乗本　業文
	腎臓内科		大学医			
	神経内科	石田　玄	田中　弘道	田中　弘道	石田　玄	田中・石田（隔週）
	内分泌内科	乗本　道子	乗本　道子	乗本　道子	乗本　道子	乗本　道子
		大学医	※但し、大学医の診察は毎月第1.3.5月曜日			
		※　部分は予約診療の日です				
外科（予約制あり）		菅村　健二	小川　東明	水澤　清昭	菅村　健二	水澤　清昭
小児科		太田原宏子	大学医	太田原宏子	太田原宏子	太田原宏子
整形外科	一診（再診は全て予約制）	大森　敏雄	大森　敏雄		大森　敏雄	
	二診（予約制あり）		賀川　武	大学医	賀川　武	賀川　武
	三診（予約制あり）	水村　浩之	水村　浩之			水村　浩之
婦人科（予約制あり）			水田　正能（診療13:30～）		野坂啓介（検診のみ）【非常勤】	水田　正能（診療午前中のみ）
麻酔科（ペインクリニック）		玉川　竜平				
泌尿器科					大学医	
皮膚科		大学医				大学医
形成外科					大学医	
眼科			大学医		大学医	
耳鼻咽喉科			大学医			大学医
専門外来	乳腺甲状腺（予約制あり）診療 14:00～16:00			小川　東明 水田　正能（第2.4週）		
	ストーマ（予約制）診療 9:00～12:00 外科	菅村　健二	小川　東明	水澤　清昭	菅村　健二	水澤　清昭
	ストーマ（予約制）診療 9:00～12:00 泌尿器科				大学医	
	もの忘れ（予約制）診療 14:00～16:00					田中　弘道 石田　玄（第2・3週）
	呼吸器 診療 9:00～12:00		松江医療センター非常勤医師（第1・3週）			

◆受付時間　≪急病の方は、受付時間・休診日に関係なくいつでも診療を行っています≫

- **新　患**（新患窓口）
  - 各　科　8:30～11:00
  - 婦人科（火曜日）　8:30～16:30
- **再　来**（自動受付機）
  - 各　科　8:00～11:30
  - 婦人科（火曜日）　8:00～16:30
  （予約外で11:30以降に受付される方は再来窓口）
- **リハビリ、注射、検査、健診等**（再来窓口）　8:30～11:00

※小児科夜間救急対応について
　鳥取大学の小児科医師が週に1回救急対応いたします。受診希望の方は、21：00までに電話連絡のうえお越しください。
※対応時間
　毎週木曜　17:30～21:30

◆診療開始時間
　各　科　9:00～
※婦人科（火）
　診療時間　13:30～17:00

◆予　約
　初診の方および当日の予約はできません。

◆休診日
　土曜日・日曜日・祝日
　年末年始(12/29～1/3)